

# 中村じゅんや 議員だより



連絡先（事務所）：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

〈TEL〉055-997-1336

〈E-Mail〉 junya\_shizunaka@office.tnc.ne.jp

〈FAX〉055-997-5745

〈URL〉 <http://www.junya-susono.club/>

## 新たな元号の元、裾野市の未来は・・・

平成31年度（令和元年度）当初予算は、213億円。当時60億近い法人市民税のもと繰り広げられた裾野市独自の施策を見直し、人口減少下でも持続可能なレベルを構築するため「身の丈にあった行財政運用」が開始される年の予算です。前回掲載した行財政構造改革、即廃止と判断されたものは当然予算計上はありません。しかしながら「廃止」項目には、「ある条件を満たさなかったら廃止」「廃止に向けて検討を開始」「予算は〇だが、工夫して事業は継続」など、市民への公表が随分と曖昧うちに行われた感があります。最近「財政状況が厳しい」「お金がない」と話す事を「できない理由」とし、どうしたらよいのかも分からぬまま、事業が削られてしまうケースが見受けられます。「市民協働で乗り切るのではなかったの?」「廃止の前に市民にできることはないの?」説明が少なく、どこに向かって何をしようとしているのか見えない裾野市。慣例からの脱却は賛成。でも、将来ビジョンなくして、どうやって事業を進める?灯台下しか見えていないように感じているのは私だけでしょうか?

## 平成31年（令和元年）度の事業抜粋

### ■富岡第二小学校 体育館新築工事（32千万円）

購入済みの校舎北側の土地に建築を予定。既存の体育館は耐震性が低く来年度に解体し、その後、駐車場として整備が予定されています。

### ■富岡第一小学校 南校舎耐震工事

秋口から工事を予定。既存グラウンドにプレハブ仮校舎を設置し、私の子もそこで授業をします。グラウンドの利用に制限がでますのでご注意を!

### ■放課後児童室拡充事業

本年度から全児童室で小学校6年生まで利用可能。ただ容量的に待機児童あり。そこで、東小、西小、富一小、深良小、南小に1つずつ増室。余裕教室や借家、隣接施設を活用する予定です。なぜ学校をそのまま利用できないのかなあ?

### ■富岡リノベーション事業（実施設計）

老朽化に伴い耐震補強含め来年度（令和2年）に工事を予定。今年は昨年のアクトや会議を基に、設計が行われます。どこまで反映されるか注目したい所です。お金がない?工夫しよう!



### ■その他（教育・福祉施設関連）

深良小学校耐震工事、文化センター改修工事、福祉保健会館空調工事

### ■新火葬施設整備事業（42千万円）

既存施設の富士山側に、長泉町と共同で火葬場を新設。（裾野市の負担割合は、55.47%）7月頃から工事を開始し、2021年度中には供用開始予定。既存施設はその後に解体し、駐車場となります。最近、病院等からの直葬が増えているとのこと。身寄りがいない方もおりますが、7ヵ所等自宅が狭く一度自宅に戻る形を取れない方も増えているそうです。何となく寂しい世です。



鳥瞰イメージ

### ■総合計画等策定事業<★重要です>

今後10年間のまちづくりの総合的な指針となる第5次総合計画が策定されます。市政はこの計画を基に運用されます。つまりこの計画にない考え方を途中から実施しようとしても難しい。目の前2～3年の事を主体に計画するとその先にある7年は何もできないこととなります。ちゃんと10年以上先を見据えて、計画を作る必要があるのです! わいわいガヤガヤも良いですが、真剣に話し合う時間と言うのも重要。みなさん、もし話し合いに参加するときは、しっかり主張してください。雰囲気感に惑わされないで!

市民の夢をこの計画に示すことができれば、市はその方向に進みます。市長が変わっても、この計画はそう簡単には変えられないほどのものです。

## 予算以外の議案（組織等）

### ■組織変更情報（抜粋）

- ・刈刈ッパッリッッ推進室新設（産業部）
- ・市民協働事務を、刈ッパッリッ推進室に移管。（生涯学習センターから市役所3Fに移動）
- ・放課後児童室事務を教育総務課に移管。（学校管理との効率運用に期待！）
- ・道路保全対策室を建設管理課に統合（地区からの道路改善要望などに対して、通学路対策など包括的な実施が可能に！）

### ■人事異動情報（抜粋）

- ・建設部長に静岡県沼津土木事務所技監を招聘
- ・官民連携まちづくり特命職員を指名（市内企業との連携を強化すべく担当を選任）
- ・産業連携地域プラットフォーム事業推進特命を指名（データ活用経験者を活用し、活性化を図る）

### ■副市長継続議案は「不同意」（賛成少数）

副市長の任期は4年。任期満了となった江藤副市長を再度副市長に任命したいという議案が提出されましたが、議会は賛成4人で否決（不同意）。

#### ＜理由は議員や会派により様々＞

- ①「社会問題山積の中スピードをもって市政発展に貢献する為副市長を2人とし対応したい」という当初の理由に対する意見
  - ・2人にしてもちっとも市の状況が変わらない。
  - ・スピードアップして対応している事が見えない。
  - ・専門監までも配置して、頭でっかちの組織になってしまっているのではないか？
- ②市民を軽視しているのではないか。
  - ・厳しい財政下で、行財政構造改革にも着手するなら組織としての見直しも必要。
  - ・不祥事を起こした職員やその責任者を降格なく配置した本年度の人事は信用できない。

議会は反対したけど、、、

市長は「どうしても江藤氏が必要」ということで「特別任期付職員の理事」として採用しました。

職員なので議決は不要です。権限についてまだ詳細は分かりませんが、副市長相当のようです。～きちんと成果を出してくれるのでしょうか？～

「副市長がだめなら理事で？」そんなに必要なら、議会最終日に突如として提案せず、その理由を時間を掛けてでも、もっとしっかり説明するべきです。

理事とは何か？どんな権限を持たせたのか？理事が副市長室を使っているが、副市長2人の空きを埋める気があるのか？など市長に説明を求め、条例や規則との整合を監視します。

## 行財政構造改革「廃止」は決定ではない？

冒頭に記載した通り、行財政構造改革の「廃止」や「減額」は、まだまだ良く分からない所が沢山あります。議会は予算可決するにあたっては、付帯決議（条件付き可決）を表明しました。

### ＜付帯決議概要＞

- ・廃止を検討しているモノについて条件を明示する事
- ・事業がどういう風になるのか、市民が分かりやすい表現で説明する事
- ・事業継続等について市民の意見が確認できる仕組みを導入する事。 ほか

例えば、廃止と言っている事業ですが、良く分からない。ちゃんとした説明が必要です。

- ・すその一は、乗車率20%を維持できるなら継続の予定。（現在17%）→廃止は回避可能
- ・健康マルシェ事業は、景品の予算は無くするが、事業としては継続する。→予算のみ廃止
- ・敬老会事業は段階的に事業縮小→じわじわ廃止？（祝品の商品券を喜寿、卒寿、100歳に限定）（来年からは式典廃止）
- ・2008年後期高齢者医療制度開始に伴い、急激な変化抑制のため実施してきた高齢者医療費助成は、開始10年を経過したため廃止。財源であった宝くじ収益は、高校生医療費助成に充てられます。



## 各種活動のご紹介

### ●消防出初式

総務委員長としての役目。出初式のパレードを視閲台から拝見させて頂きました。気づいて手を振って下さった方ありがとうございます！



- 夢ある農業総合研究所視察  
井関農機さんが進める自動運転技術を学びに視察研修。高齢化や耕作放棄地という農業課題の一助となるか？ 広さからの収益性が壁となりそうですが、間違いなく必要な技術です。

- 裾野緑ヶ原緑会さんと、呼子区子ども会さんとのコラボ  
子どもたち同士やその親同士は顔なじみでも、地域で世代を超えて一緒に活動する事は少ない現代。呼子ファームの農作業体験を通じた交流会は、季節外れの雪も何のその。楽しい時間でした！

